

平成29年度

決算概要

平成29年度の松田町一般会計、特別会計、公営企業会計の決算について、町議会第3回定例会で認定されましたので、その概要をお知らせします。

予算・決算とは

「予算」1年間の町の財政計画であると同時に諸政策を定めるもので、毎年、広報まつだ4月号でお知らせしています。「決算」実際にお金がいくら入り(歳入)、何に使ったのか(歳出)をまとめたものです。

【問い合わせ】政策推進課 財政係

☎(83)12222

会計別決算の概要

■一般会計

一般会計の歳入総額は前年度比4・9%増(2億1318万円増)の45億7797万円、歳出総額は前年度比4・2%増(1億723万円増)の42億7992万円となり、歳入歳出差引額は2億9805万円となりました。歳入、歳出の内訳は、左のグラフの通りです。

▼歳入・歳出の特徴

歳入の主なものでは、自治体間の財源の不均衡を調整する地方交付税が、町税などが増えたことなどにより、前年度から3447万円、繰越金が3131万円の減少となりました。なお、決算額に占める割合が最も高い町税が7586万円、県支出金が7579万円、ふるさと納税などの寄附金が3019万円など、

大幅に増加となりました。歳出では、地方創生に係る国庫補助金の採択を受けた『複合拠点施設整備事業』による町民文化センターのリニューアルや、複数年計画で実施している『Yadoriki Healing Village』などの地方創生事業、国・県の制度に基づいた民間保育所の整備支援などを実施しました。これらの投資的な大規模事業については、

国や県の補助金による財源を十分確保したこと、町民の皆さんの安全安心に関わるサービスなどを低下させることなく、事業を実施することができました。

国や県の補助金による財源を十分確保したこと、町民の皆さんの安全安心に関わるサービスなどを低下させることなく、事業を実施することができました。

9280人の住民(給水人口)に対し良質な水を安定的に供給するため、水道施設の更新、維持管理を行いました。平成29年度の給水収益(水道使用料)は前年度比0・2%減となり、営業収益は前年度比0・1%増となりました。営業外収益は前年度比10・4%減となり、水道事業収益は前年度比2・6%減となりました。

支出については、前年度比3・7%増となり、当年度純利益2042万余円を計上するに至りました。

寄地区(湯の沢を除く)に対し良質な水を安定的に供給するため、水道施設の更新、維持管理を行いました。水道使用料を主とする歳入は、前年度比9・8%減となり、送水ポンプや非常通報装置の更新工事を主とする歳出は、前年度比21・0%減となりました。

..... 一般会計決算

歳入 45億7,797万円 歳出 42億7,992万円
前年度比 4.9%増(2億1,318万円増) 前年度比 4.2%増(1億7,23万円増)

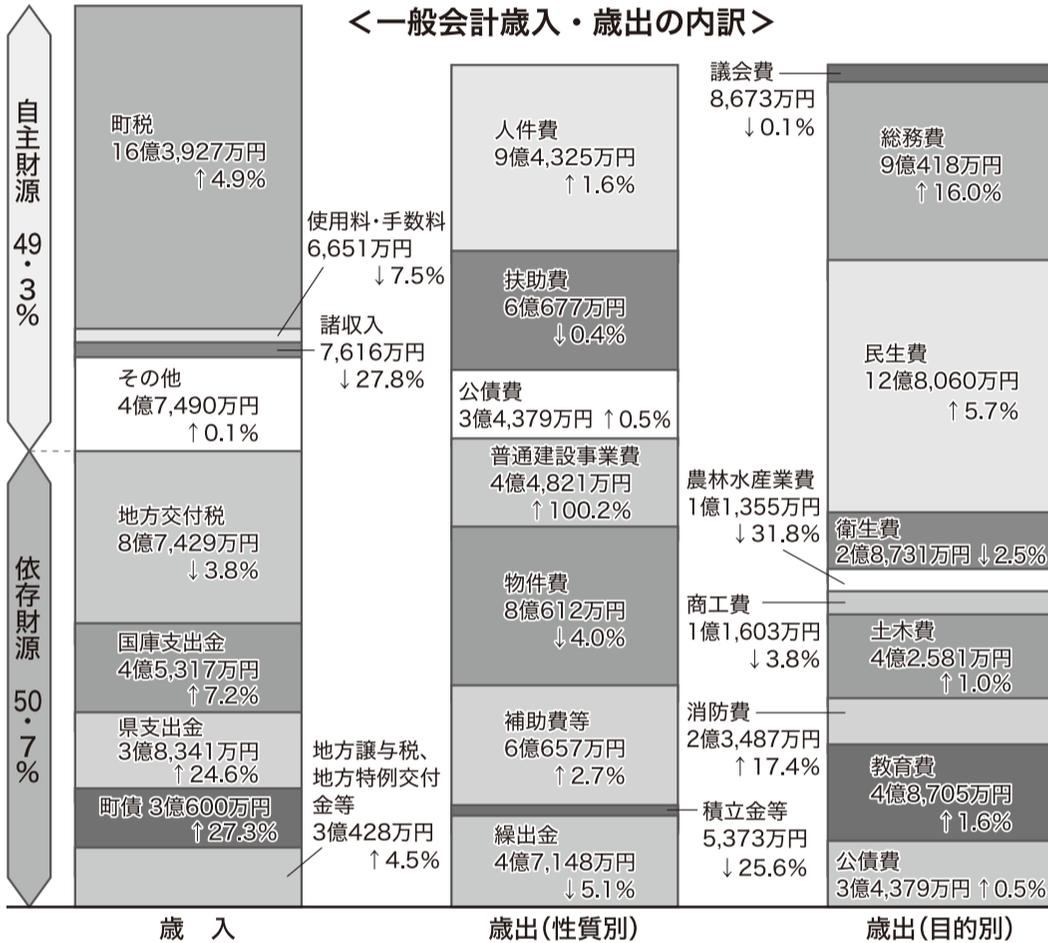
特別会計・公営企業会計決算

単位：万円

Table with 5 columns: 会計区分, 歳入, 前年度比, 歳出, 前年度比. Rows include 国民健康保険事業特別会計, 国民健康保険診療所事業特別会計, 上水道事業会計, etc.

※一万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります

<一般会計歳入・歳出の内訳>



○↑↓は前年度対比を表しています。○金額は1万円未満を四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。○性質別決算とは支出を経済的性質によって分類したものです。また、目的別決算とは、支出を目的によって分類したものです。

町国民健康保険被保険者が病気やケガの治療に要した平成29年度医療費の総額は11億2857万円となり、前年度に比べ2・2%減となりましたが、被保険者1人当たり換算すると40万5524円となり、前年度に比べ5・2%の増となりました。

国民健康保険診療所事業特別会計 平成29年度の寄診療所で